

2025信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

長文読解と自由英作文。和訳はなく説明問題のみ。

その他トピックス:

大問4つの構成と形式は例年通り。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	長文読解	自然とは何か?	説明×2 空所適語補充 語整序	普	「辞書の定義と社会の関係」という興味深い内容。英文は読みやすいが整序問題はコマに注目。
2	長文読解	人間の社会的知能	説明 空所適語補充 ×2 空所文補充	普	後半の「イヌとヒトとの関係」が興味深い。設問は比較的解きやすいもの。
3	長文読解 自由英作文	技術の進歩と生活の変化	内容理解4択×4 自由英作文	普	・全て英語による出題だが、4択問題は解きやすい。 ・自由英作文は「技術の進歩が生活をより良くすると思うか」 Agree or disagreeの典型的出題なので書きやすい。理由は2つ述べる必要がある。
4	長文読解	食べ物の概念	空所適語選択 空所文補充	普	・全て選択問題 ・前置詞補充は難しいものはない ・名詞補充は内容の理解を問うもの ・文補充は全体のトピックを問うもの

〈学習対策〉

英文読解＋自由英作文という構成なので、まずは英語の読解力をつけること。難しい単語を覚えることよりも、読むための英文法を理解することを優先しよう。英作文は自由英作文の練習をする前に基本的な和文英訳をしながら使える表現を増やしていこう。

2025信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

難易度的にはあまりムラのない出題だが、例年大問7は難しい傾向にある。

その他トピックス:

今年は解析系の問題の出題が多かった。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
3	数C	ベクトル	ベクトルと円・三角形	普	円のベクトル方程式、および三角形の面積比の問題。定型問題である。
4	数II	微分	微分の不等式への応用	易	3次関数の増減を調べる。場合分けがないので易しい。
5	数B	数列	等差数列と等比数列	易	問題文を勘違い(並べ替えて等比数列)すると面倒なことになる。
6	数III	積分	三角関数のグラフと面積・体積	普	難しい設定ではないので、計算がちゃんとこなせば確実に得点できる。
7	数III	微分	動点と速度	やや難	「速度」という物理的な概念とベクトルをうまく処理できること、計算処理能力が要求される。

〈学習対策〉

3問完答が欲しいところなので、① I A II Bは標準問題 ②数III(特に積分)はちょっと高度な問題 の演習を数多くこなして欲しい。

2025信州大学 二次解答分析速報

教科: 物理・物理基礎

学部: 医 学科(課程・専攻): 医(医)

入試区分 前期

試験時間: 75 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

答えのみ書かせる形式だが、昨年同様、描図問題が出題された。

その他トピックス:

出題分野は昨年と変化なし。問題の分量、計算量共に多く、時間が短いために厳しい。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	力学	単振動 力学的エネルギー保存則	弾性力による斜面上の物体の単振動	普	単振動に関する標準問題。完答を目指したい。
2	波動	波の式 単振動	固体中を伝わる縦波の力学モデル	普	設定が少々複雑なので難しく感じられるかもしれない。三角関数の合成など、計算力が問われる。
3	電磁気	電磁誘導 エネルギー保存則	運動する導体棒、コイルに生じる誘導起電力	普	電磁誘導に関する標準問題。運動のイメージを正しくとらえることがポイントとなる。
4	熱力学	熱力学の第一法則 気体の仕事	シリンダー内の気体の状態変化	普	問題の設定は標準的であるが、式が繁雑で、計算ミスに注意する必要がある。

〈学習対策〉

75分間で大問4題を解くのはかなり難しい。標準的な問題をいかにミスなくスピーディーに通過できるかがポイントとなる。問題量、計算量共に多いので、まず標準レベルの問題をしっかりとマスターするとともに計算力を養うことが必須である。

2025信州大学 二次解答分析速報

教科: 化学・化学基礎

学部: 医 学科(課程・専攻): 医(医)

入試区分 前期

試験時間: 75 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

糖類が大問1題を占めていた。気体の問題も大問として取り上げられていた。

その他トピックス:

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	理論	結晶格子	密度・充填率 溶解度積	普	結晶格子に関する一般的な内容の問題であった。
2	理論	気体	分圧・蒸気圧	普	連結容器に可燃性気体を入れ、混合後点火する見慣れた問題である。
3	有機	アニリンの反応	アゾ染料の合成	普	化学反応式を多く書かせていた。また、140字の論述形式の問題が出題されていた。
4	有機	糖類	グルコースの構造式 還元糖の計算 アルコール発酵	普	グルコースの3種類の構造式を書かせる問題。アルコール発酵、フェーリング液の還元に関する計算問題。

〈学習対策〉

例年同様市販の問題集の標準問題レベルの出題であった。基礎力をしっかり身に付けていれば高得点を期待できる。高分子の出題が糖類に傾いているように思われる。例年と同じく無機化学からの出題は、ほとんどなかった。

2025信州大学 二次解答分析速報

教科: 生物・生物基礎

学部: 医 学科(課程・専攻): 医(医)

入試区分 前期

試験時間: 75 分

〈全体分析〉

解答形式:

記述式

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

生物・生物基礎の全範囲から幅広く出題されている。教科書に記載のある基本的な問題が多いが、「コラム」や脚注などの細かな内容の出題もある。知識問題が多く、実験考察型の出題は少ない。例年論述式の問題が多かったが本年度は5問200字×2、30字×3計490字と大きく減少した(昨年度は12問1行程度×4、80字程度×3、20、60、150、140、60計770字程度)。代わって穴埋め問題、化学反応式を答える問題が増加した。

その他トピックス:

毎年出題されていた生態分野の出題がなかった。カタラーゼの酵素の問題は23年年度前期に類似の問題が出題されている。論述量が激減したためやや易化とした。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	生物の環境応答	刺激の受容と反応	知識問題 論述問題200字	標準	ヒトの受容器と刺激、ヒトの中枢神経系の名称とはたらき、骨格筋収縮に関する穴埋め。落ちていたものを拾う過程について刺激の受容と反応についての論述。
2	遺伝子	遺伝子と遺伝情報	知識問題 論述問題200字程度	標準	DNAの構造、複製、遺伝子操作に関する穴埋め。DNAの複製過程の論述。遺伝子操作や遺伝子組換えなど遺伝子を扱う技術に関する知識問題。
3	代謝	呼吸	知識問題 化学反応式	標準	呼吸に関する語句と解糖系および電子伝達系の反応式の穴埋め。脂肪とタンパク質が完全に分解されたときの反応式。呼吸商からの呼吸基質の推定。
4	酵素	酵素	知識問題 論述問題30字×3	標準	酵素に関する穴埋め。カタラーゼによる過酸化水素の分解について、化学反応式、条件によって反応しなかった理由の論述。阻害剤の影響。無機触媒と酵素の違い。

〈学習対策〉

標準的でオーソドックスな問題がほとんど。やるべきことをしっかりやれば高得点が期待できる問題構成。過去に出題のあった内容が繰り返し出題される傾向がある。対策は教科書の内容と過去問を徹底的に学習すること。教科書は「参考」「コラム」などの細かな内容も丁寧に理解しておく必要がある。昨年まで論述問題が多い傾向があったので、50～100字程度の論述答案を書く訓練を、早い時期から練習しておきたい。論述内容は知識型が多い。実験問題は多くはないが、実験問題について内容・結果・グラフの十分な理解を練習しておきたい。